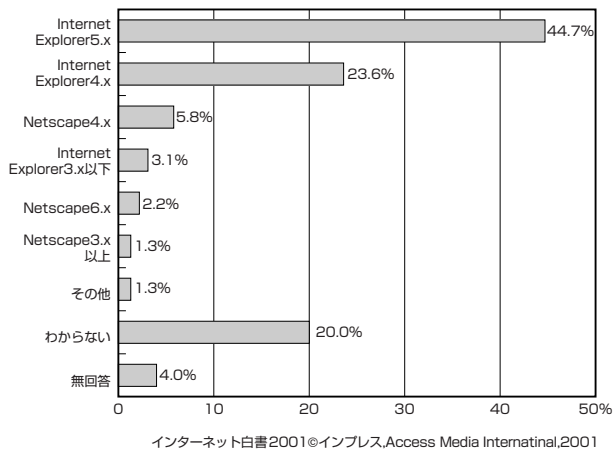


## 第3章 パソコン利用者

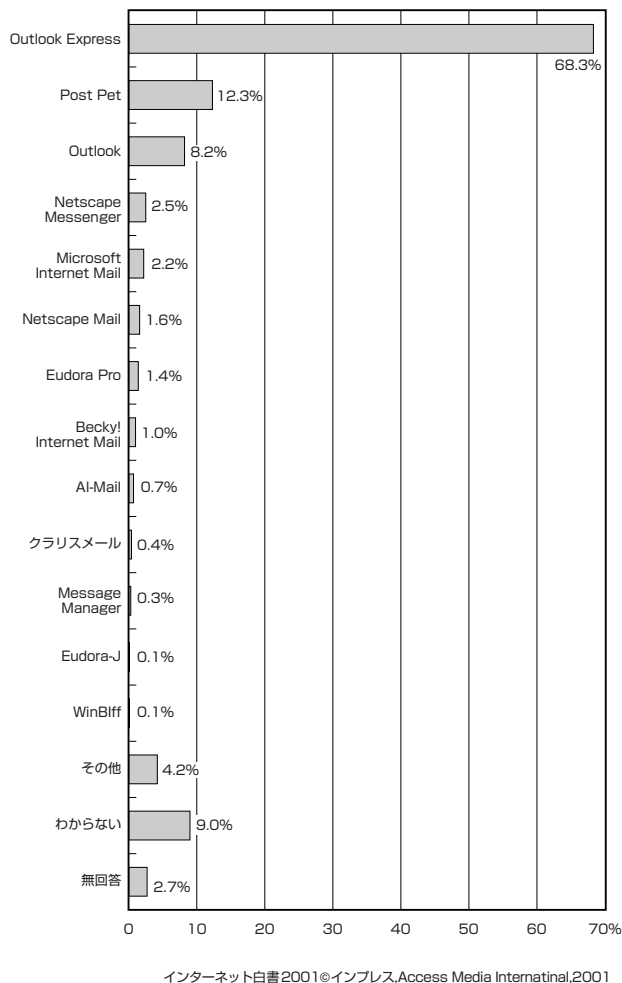
## 利用ソフト

## Outlook Express 圧勝

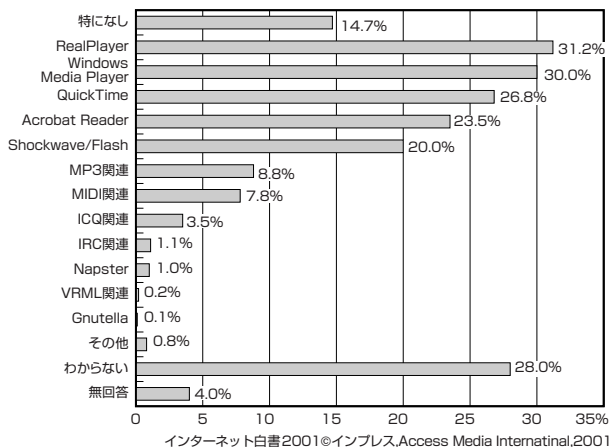
資料 1-3-60 利用ブラウザ N=1,662



資料 1-3-61 利用メールソフト N=1,662



資料 1-3-62 ブラウザー、メール以外のソフト N=1,662



## 解説

## ■ 利用ソフト

主に利用しているブラウザを複数回答で挙げてもらった。1位、2位はいずれもマイクロソフト社の「Internet Explorer」で、両者を合わせると68.3%を占める。複数回答なので、今年の60.2%と比較すると、それほど伸びていないように見えるが、ブラウザの併用率が1999年の124.9%から昨年は110.3%に、さらに今年は106.0%に減少しており、その分実質的な利用シェアは拡大したといえる。

また、ブラウザのブランド（ソフト名）

を意識していないとみられる「わからない」回答者が1999年の4.1%から昨年は25.7%、今年も20.0%となっており、市場規模の拡大を考慮すると大幅に増えている。通信速度について「わからない」回答者が多かったのと同様、ブラウザも利用ブランドがほぼ絞られ、インターネットを利用する際にほとんど意識されない存在になりつつある。

利用しているメールソフトに関しては無償の「Outlook Express」が3年連続で1位を獲得（68.3%）、昨年の58.8%から着実に増加した。2位以下の傾向は昨年

と変わらないものの、軒並み数値を下げしており、その分を「Outlook Express」が獲得したという構図である。わざわざ自分でインストールやダウンロードする手間が効かないマイクロソフト製品がメールソフトにおいては勝利したといえよう。

ブラウザやメールソフト以外の利用アプリケーションは毎年新しいソフトが次々に登場するが、今年は昨年2位だった「RealPlayer」が1位に、昨年4位だった「Windows Media Player」が2位に上がり、昨年までトップの「Quick Time」が3位に後退した。昨年来、特に音楽コ



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)